

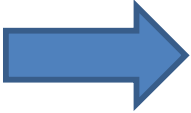
# EBPMの活用について

資料4-1(机上配布)

第50回文部科学省政策評価に関する  
有識者会議(平成31年3月28日)

法に基づく政策評価の枠組みとは別途、PDCAサイクルをより効果的なものとするため、EBPMを試行する。

- 施策・事業の必要性・有効性等を説明するために、その考え方やエビデンスを整理し、共有していく必要があるのではないか。
- 施策・事業の効果や進捗の測定手法は、施策立案時から検討すべきではないか。
- 施策全体を見て、重点化等の軽重をつける検討をすべきではないか。
- 目標からバックキャストして、施策立案等を行うべきではないか。
- 指標の根拠となるデータの正確性等に留意すべきではないか。

- 
- エビデンスに基づいて、現状把握や課題の特定を行い、目標を設定。
  - 目標の達成のために必要な施策・事業を論理的なプロセスをもとに整理。
  - エビデンスの整理にあたっては、信頼性のあるものかどうかまで含めて検討。定性的なものも含む。
  - 目標を達成するために必要な施策・事業に漏れがないか、真に必要な施策・事業かどうか検討。

## 具体的取組の内容

### ① EBPM的手法を活用した実践実例の創出

画一的な取組を行うのではなく、各分野でどのような分析が可能かの試行的実践を積み重ねることで、分野の特性等に応じた手法を整理。  
既存データのみならず、どのようなデータがあれば分析できるかも含めて検討。  
※数値、事例、アンケート等、定量的・定性的双方の情報を含む

➡ 対象事業：平成31年度新規事業及び平成32年度概算要求事業

### ② エビデンスデータ等の整理・収集

- ①各局課が持つデータ等の棚卸し、共有できるものの洗い出し  
⇒データ及び不足データの可視化と入手性の向上
- ②新たに収集が必要とされた共有データ等について対応を検討

- ・データを活用するための体制整備
- ・統計的知識を有する職員を省内公募し、省内の相談体制を構築

### ③ 人材育成（省内研修の実施）

目的：データの信頼性の確保に関する能力向上  
EBPMに関する基礎的知識の習得

#### 研修メニュー

- ① EBPMに関する基礎的知識の習得のための外部有識者による講演会
- ② EBPMを試行的に実施した担当課による知見の共有（勉強会）
- ③ 国立教育政策研究所の協力のもと、統計等のデータに関する基礎的知識を習得

# (例) 子供の読書活動の推進について

■ 目標からバックキャストして、必要な施策・事業を特定。

■ 施策に関する考え方のロジックを整理。

■ 施策全体を俯瞰することが可能。

